



会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

佐藤 友彦

皆さん、こんにちは。本日も例会に出席頂きましてありがとうございます。

本日は近々での出来事の中で感じたことを2点お話ししたいと思います。先ず一つ目に時代は本当に変わってき

たなという事ともう一つは民意というものは本当にわからないものだなという事です。皆様もご承知の通り、今週の日曜日に真鶴町の町長選挙が行われました。経緯や結果については触れませんが、立候補者のお一人に AI メイヤーさんという方がいらっしゃいました。私は当初、どこか外国の方が帰化して立候補したのかと思っていましたが、AI メイヤーというのは通称で正式な届出資料には AI 党(人工知能が日本を変える党)の党首である松田道人さんという方が記載されています。この方はジャンボ松田という名でプロレスラーとしてもご活躍されているようです。また、この党は多摩市長選挙や多摩市議会議員選挙にて候補者を擁立した過去もございます。真鶴町長選挙にあたっては町長として相応しい姿との事でポスターは AI で作成されたイケメンとなっています。また政策を見ても AI を活用して政策を立案し人為的な偏りを排除し、しがらみのない議会を実現するとあります。本来、政策本位な政治選択をするべきではありますが、候補者の経歴、実績や人柄も含めてある程度の縁故やしがらみによる選択は大都市ではない地方の小さな町では当然の事とは思う一方で確かに AI を最大限活用したら政策をはじめ色々な事が変わるのかなと少し興味を抱いたことも事実です。今後、社会において AI をはじめテクノロジーは凄まじいスピードで進化していくと思います。私も時代の潮流に置いていかれないように勉強する必要があると感じました。

そして、もう1点は民意についてです。こちらに関してはご承

知の事と思いますので詳細には触れませんが個人としての想像とは違う方向に動くこともあるのだと言った点だけお伝えをします。いずれにしても、当クラブの活動エリアである町の今後が良い方向に進んでいくことを願うと同時に継続して注視していきたいと思っております。

本日の例会もよろしくお願い致します。ありがとうございました。

幹事報告

ガバナーより

1. 2024年夏出発・青少年交換学生 選考試験について
11月11日・12日の両日にわたって、2024年夏出発・青少年交換学生選考試験が行われました。

連絡事項

有志による忘年懇親会を下記により開催いたします。

日時 令和5年12月1日(金)午後6時より

場所 京家 (電話:43-8108)

会費 13,000円(当日徴収いたします)

出欠については準備の都合がありますので、11月24日(金)までに事務局まで回答をお願いします(別送の回答表の事務局への返信も可能です)。

スマイルボックス

結婚記念日 高杉尚男君(11/22)

葉維英君

上海で東京理科大学校友会総会を開催しまして、上海校友会会長に選ばれました。校友会の更なる発展に尽力したいです。

出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名
会員 22名 欠席2名(免除者0名)
出席率 90.91%
前回の修正出席率 90.91%
前々回の修正出席率 81.82%
事前メイクアップ 2名

卓話

平間 章弘 君

口の中の細菌は数百種類いるといわれ、その中には乳酸菌、ヨーグルトなどでおなじみの腸内細菌と同じ様に細菌叢を構成しています。

これらは口腔内フローラと呼ばれ、通常はそれぞれに健康なバランスをとって口腔内に生息しています。

ただし様々な要因によってバランスが崩れると、口腔内の細菌は全身の疾患、病態を引き起こすことが分かって来ました。近年では「未病」という概念が広まり、発病したとは言えないものの健康とは言えない状態、つまりは、自覚症状が無くとも検査結果で異常が見られる、または自覚症状が有るが検査結果に異常が無い状態、この二つの状態、つまり未病の状態で健康な状態に戻す取り組みが勧められています。この流れを受けて現在は病気を治すより病気にかかりにくい身体を作ること、病気を予防し健康を維持するという予防医学的歯科医療、口腔ケアが重要と考えられています、この考えは高齢化社会においてさらに進んでいくと思います。即ちこれまでの虫歯治療や抜歯、歯肉の手術等々はこの超高齢化社会において時代遅れの医療になると思われます。この様な事からこの度は口腔内の細菌により引き起こされる様々な病気について説明しようと思います。

先程ご説明しましたが、口腔内の細菌は体の中で最も高密度で大腸と同じ密度と言われています。腸内細菌は身体の中

を調整する免疫組織でバランスをとっているのですが、口腔内でこの抑制する物は唾液しかありませんので、特に老人は唾液の分泌が少ないため、毎日の歯ブラシが必要なのです。そして日本人の死亡原因の多くを占める肺炎の中でも特に高齢者に多い誤嚥性肺炎は、唾液や飲み物が誤って気管に入り口腔内の細菌により肺炎を起こしてしまうことにより起きます、身体が不自由で口腔のセルフケアが出来なかったり、高齢者で唾液の分泌が少なく、口の渇きが強くなると誤嚥の原因となります。

繰り返しになりますが、毎日の口腔ケアは必要だといえます。歯周病は糖尿病により創傷治癒の遅れが見られる為に悪性化する事が知られています。また糖尿病の患者さんは一般人より歯周病にかかりやすく、重度の歯周病患者さんは血糖コントロールに悪影響を及ぼす事が知られます。そしてまたⅡ型糖尿病では歯周治療により血糖値が改善する可能性があることもわかってきました。

関連情報として、関節リウマチと歯周病とは全く違う病気に見えるかもしれませんが、リウマチ患者さんは以前は“関節が不自由になるので十分にブラッシングが出来ないため歯周病になる”と考えられていましたが、歯周病の原因となる細菌はいろいろな酵素を介して免疫バランスを崩して関節リウマチを引き起こすことが分かって来ました。そしてこの二つの病気はかなりよく似た病態であるともいわれています。実際に歯周病の改善で関節リウマチの病状の回復が多く報告されています。これらのことから関節リウマチの予防には口腔ケアが非常に重要であることが分かって来ました。

以上のことより、口腔ケアの必要性を感じていただけたと思います。皆様も常に意識して、口腔ケアに取り組んでいただきたいと思います。